

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(10)の要点等を具体的に記述する。  
 なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1) 講演等において、多目的ホールを多くの者が利用する場合があることを踏まえて、空間構成について考慮したこと

多目的ホールは、講演においては利用者が多くなるので、ホワイエから直接アクセスできる1階に計画した。また、多目的に利用されるため、利用者の利便性、搬入・荷解き室からの動線を考慮した。

(2) 外部空間と屋内空間とのつながりを踏まえて、公園、カフェ及びカフェテラスの三つの関係性について考慮したこと

カフェテラスは、公園に囲まれた日当たりの良い南面に設けた。南面にカフェテラスを設け、公園、カフェ及びカフェテラスを一体に形成した。

(3) 「分館出口前のオープンスペース」について、設計条件を踏まえて工夫したこと

エントランスホールより分館出口を設け、オープンスペースへ直接つながる動線とした。本館へつながる経路は、彫刻やベンチ等を配置し、休憩の場とした。

(4) 「市民アトリエ」及び「ショップ」のそれぞれの「室の設え」について、特記事項を踏まえて考慮したこと

市民アトリエ	市民のいろいろな要求に応じる室とし、屋上庭園に接し、くつろぎ易い空間とし、市民がリラックスして楽しめるアトリエ空間とした。
ショップ	ホワイエに面してショップを設け、カフェに接する形とし、休息の中でショップを楽しむ空間とした。

(5) トップライトを設けた吹抜けを、自然換気に有効利用するために工夫したこと

エントランス上部にトップライトを設けることで、エントランスホールの中央部に自然光を取り入れ、明るい空間とした。自然換気は、周囲の空間から上部の開閉式トップライトへの空気の流れを考えた。

(6) 屋上庭園 (出口・通路及び客土範囲) における断面の構造等計画 (梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方) について考慮したこと

【イメージ図記入欄 (必ず記入のこと)】		
	断面	梁断面, スラブ位置・厚さ: スラブは、客土の厚みや重さ、防水層を考慮し、位置は2FL-600、厚さは250とした。大梁と直交する小梁が有効に架かるように、大梁せいを1200とした。
	バリアフリー	バリアフリー: 客土の無い部分にウッドデッキを2FLと同レベルとなるように敷き、室内と屋上庭園に段差の無い計画とし、車椅子使用者の出入りしやすさを考慮した。
	防水	防水: 漏水等が生じにくいように、屋上庭園部分の床スラブ全体を下げ、防水層に段差の無い納まりとした。また、耐久性を考慮して、アスファルト防水保護工法を採用した。

(7) 設計条件 (建築物の用途や規模等) を踏まえて、建築物の構造種別・架構形式・基礎形式・スパン割り等を決定するに当たり、耐震性と経済性について考慮したこと

耐震性	各階の異なる用途に対応が可能なラーメン構造とし、靱性を重要視した架構形式とした。
経済性	架構形式は、梁間方向は7.0m、桁方向は8.0mの均等スパンとし、経済性に配慮し、全体を矩形の建物とした。

(8) 多目的ホールの構造計画 (柱、梁、床、天井、スパン等) について考慮したこと及び部材の断面寸法

構造種別 架構形式 スパン割り	構造種別・架構形式は、耐火性や遮音性、建築計画の自由度 (開口部の設けやすさ等) を考慮して、鉄筋コンクリート造によるラーメン構造とした。 スパン割りは、経済性を考慮して、7mと8mのスパンを組み合わせる計画とした。			
部材の 断面寸法 (mm)	大梁	500 × 800	柱	800 × 800
	小梁	300 × 600	壁	200
			床	200

(9) 公園の眺望 (西面及び南面) や自然採光を確保しつつ、冷暖房時の負荷抑制を図るために、建築計画や設備計画において工夫したこと (Low-Eガラスによる工夫を除く。)

【イメージ図記入欄 (必ず記入のこと)】	
	西面: 西方向に配置される多目的ホールについては、眺望は西面から確保する計画とした。その開口部は、西日による日射負荷抑制を図るため、垂直ルーバーを設置した。 南面: 腰壁のある窓を設け、開口部を必要以上に大きくしないようにするとともに、窓の上部に庇を設けることによって、夏季の直射日光が室内に直接入りにくい計画とした。

(10) 多目的ホールの空調方式について、その方式及び冷暖房計画で考慮したこと

【イメージ図記入欄 (必ず記入のこと)】	
	専用の空調機械室を設け、空調設備として空冷ヒートポンプパッケージ方式の床置型 (ダクト接続型) の室内機を採用し (1階の機械室に設置)、吹出し口を2階の床レベル付近の壁に設け、床面に給気し、吸込み口を展示室の天井面に設けることで、冷暖房のための不快な気流を感じにくい、空調計画とした。